

中島海岸及び津谷川に関する要望事項の検討WG（第3回）議事概要

平成26年7月16日（水）

【開催主旨】

- ・ 有識者による第2回検討会が7月3日に開催され、整備案に対する意見をいただいている。
- ・ 前回の検討WGでの議論を振り返りながら、検討WGや検討会でいただいた意見をもとに作成した整備方針案について説明したい。

【資料1（第2回の振り返り）に対する意見】

ワーキングの議事概要（未定稿）を確認いただき、ホームページに情報を掲載する方法で情報公開する方針。 →会場から異議なし。

【資料2（検討会の結果と今後の対応案）に対する意見】

1. 第2回検討会の主な意見と対応

特に意見なし。

2. 高水敷整備方針（案）

意見：高水敷と低水路の段差部分は階段状にできないか。（斜めだと滑るため）

対応：かごマットによる施工を基本とするが、植生に配慮して隙間を土砂で埋める場所、利用に配慮して階段状にする場所などを作るなど、現地で対応したい。

3. 外尾川河口部整備方針（案）

意見1：右岸の用地買収の現状はどうか。

対応1：整備方針案が固まった段階で、地元にも再説明し、ご理解を得ていきたい。

意見2：堤防上および堤防下の道路は、車が転回するスペースを設けて欲しい。

対応2：転回する場所を設置する。

4. 海水浴施設整備方針（案）

意見1：万が一にも車が海側に転落しないように、駐車場の高さは防潮堤よりやや低くするべき。

対応1：堤防よりやや低い、T.P. 14m前後で計画検討を進める。

意見2：震災慰霊碑や復興の鐘など、一般の方や若者を集める工夫が必要だろう。

対応2：今後の施設整備の中で、意見として取り入れたい。

5. 保安林・排水の整備方針（案）

意見：マツのみの植生だと松食い虫にやられる可能性があるため、クロマツの後ろに常緑樹も併せて植栽した方が良い。

対応：保安林に用いるマツは、マツクイムシに耐性のある品種の苗を植える。常緑樹と混栽も可能なため、現場で工夫しながら進める。

6. 堤防法線の微修正について

意見1：中島海岸の防潮堤をセットバックすると塩害が増す懸念がある。

対応1：中島海岸防潮堤は現状計画を基本方針とする。

意見 2：津谷川右岸の防潮堤を JR までセットバックすると、津谷川の河口閉塞が進み、サケの遡上に影響するかもしれないので、配慮が必要。

対応 2：津谷川右岸の防潮堤は現状の位置とし、従前の湿地帯へ戻すことを基本とするが、堤防の法線は景観面から工夫する余地がある。

【資料 3 今後のスケジュールについての意見】

特に意見なし

【その他】

意見 1：地元以外の人から様々なことを言われているが、「地域」を中心に考えて欲しい。
震災後の地域での 4 年間の経緯を踏まえて、地元の住民の意見を聞いて進めて欲しい。

以上